

盛岡構想区域地域医療構想調整会議設置要綱

(設置)

第1条 構想区域（医療法第30条の4第2項第7号の規定により定める構想区域をいう。以下同じ。）において、医療関係者、医療保険者その他の関係者との連携を図りつつ、同法第30条の14第1項に定める事項について協議するため、同項に定める「協議の場」として、次のとおり盛岡構想区域地域医療構想調整会議（以下「調整会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 調整会議は、次の事項を検討・協議するものとする。

- (1) 病床機能の分化と連携の推進に向けて病院・有床診療所が担うべき病床機能に関する事項
- (2) 病床機能報告制度による情報等の共有に関する事項
- (3) 所管する構想区域等における病床機能の分化と連携の推進等に必要な事業として岩手県計画（地域における医療及び介護の総合的な確保の推進に関する法律（平成元年法律第64号）第4条の規定に基づき毎年度策定する岩手県計画をいう。）に盛り込む事業に関する事項
- (4) その他地域医療構想を実現するために必要な事項

(組織)

第3条 調整会議は、岩手県県央保健所長（以下「保健所長」という。）が委嘱する委員50名以内をもって組織する。

- 2 委員は、医療機関、保健・医療関係団体、福祉・介護関係団体、市町等から推薦があった者及びその他保健所長が必要と認める者とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 会議には、会長及び副会長を置き、会長は岩手県県央保健所長、副会長は盛岡市保健所長とする。

- 2 会長は、会議を総理し、会議の議長となる。
- 3 会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を代理する。

(会議)

第6条 調整会議は、必要の都度、保健所長が招集する。

- 2 議長は委員の代理を認めることができる
- 3 議長は、調整会議における協議をより効果的・効率的に進める観点から、議事等の必要に応じて、委員の参加を制限することができるほか、委員以外の関係者の参加を求めることができる。

- 4 調整会議は、原則として公開とする。ただし、患者情報や医療機関の経営に関する情報その他保健所長が非公開とすべき情報と認めるものを取り扱う場合は、非公開とする。
- 5 調整会議における協議の内容は前項の場合を除き、岩手県のホームページにおいて公開する。
- 6 議長は、病床機能の分化と連携の推進に向けて構想区域の病院・有床診療所が担うべき病床機能や病床数等に係る関係者の合意事項について、必要に応じ、当該関係者が署名押印した確認書を作成することができる。

(委員の守秘義務)

- 第7条 委員は、前条第4項の非公開とすべき情報その他職務上知り得た秘密（以下「秘密」という。）を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。
- 2 委員は、不正の利益を得る目的、関係者に損害を加える目的その他の不正な目的で秘密を不正に使用し、又は開示する行為を行ってはならない。

(庶務)

- 第8条 調整会議の庶務は、岩手県県央保健所において処理する。

(補則)

- 第9条 この要綱に定めるもののほか、調整会議の運営に関し必要な事項は、会長が調整会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成29年3月9日から施行する。